

學中
新習字
細字帖

玉木愛石揮毫

全

K220.72

56

教
研
K220.72
56
書



石揮毫

新寫自字細字帖

全

貝原篤信

書ハ。心ノ畫ナリ。心ノ由リテ見ハルル所
ナリ。敬マザルベケンヤ。明道。字ヲ作ル時。
甚ダ敬シム。曰ク字ノ好キヲ欲スルニア

ラズ。即チ是レ此レ學ト。司馬溫公。平生未
ダ嘗テ草書セズ。造次顛沛トイヘドモ。一
點一畫。必ズ法度ノ如クス。其書ヲ觀ルモ

ノハ。即チ公ノ人トナリヲ知ル。此レ皆法
トナスベシ。予ノ先考。書ヲ善クス。平生ノ
筆札ニ於イテモ。謹嚴ヲ極ム。倉卒ノ際ニ

當ルトイヘドモ。隻字草略セズ。始終一ノ
如ク。其ノ苟シクモセザル此ノ如シ。吾人
ノ及ブ能ハザル所ナリ。

學科。課程。修身。國語。作文。漢文。英語。習字。歷史。
地理。數學。算術。代數。幾何。簿記。物理。化學。動物。
植物。鑛物。生理。法制。經濟。農業。商業。圖畫。音樂。

體操。擊劍。柔道。素讀。講義。筆記。自修。復習。應用。
實踐。躬行。休暇。外出。運動。散步。旅行。遠足。歸省。
寄宿舍。協同生活。茶話會。餘興。談論。清潔。整頓。

筆。墨。紙。硯。机。腰掛。椅子。時計。羅針盤。寒暖計。晴
雨計。火鉢。煙草盆。膳。梳。箸。茶碗。皿。鉢。德利。茶筒。
急須。茶盆。水注。鐵瓶。鹽障子。唐紙襖。屏風。簞笥。

松。竹。梅。桃。李。栗。梨。柿。蜜柑。林檎。葡萄。柳。櫻。海棠。
大根。牛蒡。蕪。胡蘿蔔。茄子。葱。芋。蓮根。慈姑。蕃薯。
牡丹。芍藥。菖薄。葛。瞿麥。藤袴。朝顏。女郎花。桔梗。

握筆有法

唐彪

握筆有法。筆管在中指無名指之間。則兩指在上。兩指在下。是謂雙包雙抵。筆始有力。若以單指包之。單指抵之。筆無力矣。又執筆宜淺。大指宜在上。

節指面。食指宜在中節之旁。中指宜在指頭。無名指宜在首節之側。庶掌虛指活。轉動自由。盧雋云。執筆必使掌中空虛。可以握卵。此要法也。

憲法。詔勅。議會。貴族院。衆議院。法律。上奏。建議。請願。豫算。協贊。議決。裁可。公布。立法。行政。司法。國利民福。道廳。府。縣。郡。市。町。村。總督。知事。長。地方自治。

興國氣象。進步。發展。兵役。租稅。公共。國家。社會。個人。公德。交際。教育。宗教。書籍。新聞。雜誌。輿論。批評。誠意。正心。修身。齊家。治國。平天下。智識。道德。學問。

面積。廣袤。山林。原野。河川。池沼。島嶼。公園。道路。官地。民地。田畑。宅地。及別。耕地。整理。農事。試驗場。植林。養蠶。製絲。織物。牧畜。養魚。狩獵。漁業。採礦。冶金。

合名。合資。株式。會社。銀行。監查。取締。役。代理。組合。手形。割引。貸附。取立。為替。金融。貯蓄。當座。定期。擔保。委託。特約。騰貴。低廉。決算。節季。固定。流動。資產。

貝原篤信

文字知らぬ人は。書の手紙にも。あやまり多く。
片言ありて。字を悪くし。又書状の詞も。拙くし
て。程も字こそぬことあり。此くの如くなれば。

書の手紙より。遙に人に見下され。人に笑は
れて。折角の人も。遂に字をしくなることあり。
然れども。我れ文字知りたりとて。知らぬ人

送るべき文に。時更におづかしき漢字など。と。
好んで書くは。如何にも。我が才学あるを。示さ
んとするが如く。其の心の計らね。却つて見

若しきものなれば。唯々その人の心得べき文
字。丁寧に記して送ること。と。禮にかたふ
ものなれ。

管原道真

青山延子

管原道真。歷事五朝。尤爲守多。帝所親任。帝嘗好
游獵。道真諫止之。隨事獻替。多所匡救。及被配。閉
門不出。託文墨自遣。雖謫居無慘。未嘗忘忠愛之

意。一日賦詩曰。

去年今夜侍清涼。秋思詩篇獨

斷腸。恩賜御衣今在此。捧持每日拜餘香。聞者莫
不感嘆。

啓上。拜復。書面。華墨。拜見。雖有。奉謝。時下。春暖。
酷暑。秋冷。嚴寒。高堂。機嫌。清康。敬賀。拙宅。無異。
消光。罷在。安神。兔角。打絕。無音。失禮。多罪。海容。

愈。益。嚙。聊。先。達。過。般。近。頃。此。度。早。速。委。細。承。知。
參。堂。依。賴。都。合。見。舞。伺。尋。拜。顏。後。便。傳。言。別。紙。
匆。匆。頷。首。謹。言。教。具。殿。樣。侍。史。封。緘。直。披。親。展。

謹啓此を状持参の人は少生同郷の友人にて特
に親しく致し居り候此度沙地の某学校へ入学
の志望にてあらかじめ入学試験の学科程度亦

沙向ひ申したしあるに候此度候の事恐れ入
り候へどもお試験に關するうごもまゝ御沙示
し下され度沙向ひ申上げ候まゝ候

この塩（難き暑き）を何にしてか漬がんとり
めきをり作ひしにたかく、某橋時た名源教授
の小樽ひらめくとありきをみり作て忽ち水に浮

びて夏を逃れんものと思ひつき作共兄と河回
伴致作は、興きとて涼めるべしと存じ、作ひ
申上げ作汚返るり、精ちきり作

浮遊のゆくは中秋に花が思へば一昨年も能
年も君と共にやけき月影を賞せしを今に
かぎり其の樂をまたせざるはつかにも跡念にあら

れ花を根たよるさやけき影流るにうつる清き影を
ぞかしとほなほと候ふも言をまゐる波に碎くる影を
白沙も私の間を眺むるもまた一興には花はすや

Y220.7

玉木忠之書



明治四十五年三月廿四日印刷
明治四十五年三月廿七日發行
明治四十五年六月十七日訂正再版
明治四十五年六月二十日發行

著作權所有

中華新習字細字帖 全二冊
定價金拾四錢

習字研究會

印刷所

小林竹雄

玉木本三郎

印刷所

文學社工場

發兌

東京市神田區美土代二丁目一番地

文學社

東京市本所區南二葉町三十七番地

